

知事記者会見の概要

日 時：令和4年5月24日(火) 10:00～10:19

場 所：502会議室

出席記者：13名、テレビカメラ5台

1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、代表・フリー質問に知事が答えて閉会した。

2 質疑応答の項目

代表質問

- (1) 原油高・物価高騰への対応について

フリー質問

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (2) 「やまがた紅王」のPRについて
- (3) 参議院議員選挙への対応について

<幹事社：YBC・産経・毎日>

☆報告事項

知事

皆さん、おはようございます。

まずはですね、本県期待の大型新人「やまがた紅王」でありますけれども、先週よりも2、3ミリ大きくなりました。現在、100円玉ぐらいに成長しているということでありますので、これからすくすくと成長して500円玉よりも大きく育ててほしいと願っているところでございます。

それから、現在、「やまがた春旅キャンペーン」を実施しておりますけれども、それは5月31日までとなっております。6月1日からは名称を「やまがた夏旅キャンペーン」というふうに変更いたしまして、6月末まで延長することといたしました。

6月は、いよいよ、本県の誇るさくらんぼシーズンとなりますので、「新しい旅のエチケット」をお守りいただきながら、初夏の山形をお楽しみいただきたいというふうに思っております。

では次に、新型コロナについて申し上げます。全国的には、直近1週間の新規感染者数ですけれども、前の週を下回っており、減少の動きが見られるところであります。

本県では、連休後に、新規感染者数が200人台が続いていたので、大変心配をしておりましたが、先週の後半からは、100人台で推移をしております、21日には直近1週間の合計が前の週を下回るということで減少傾向となっているところであります。

一方、直近のサンプル調査(5/9～5/15)を見ますと、オミクロンBA.2への置き換わりが相当進んでおまして、9割となりました。クラスターの発生も続いております。現在のところ重症患者はおりませんが、病床使用率が徐々に上昇傾向が見られるものですから、今後医療ひっ迫とまでいかないようにというふうに願っているところであります。引き続き感染状況を注視していく必要があると捉えているところであります。

換気が不十分な室内では、クラスターの発生の要因となるエアロゾル感染のリスクが高まると言われております。県民の皆様、事業者の皆様には、意識してこまめに窓を開けるなど、これまで以上に換気の徹底をお願いいたします。

先週、政府からマスク着用に関する新たな考え方が示されました。例えば、屋外で2メートル以上の身体的距離が確保される場合には、マスク着用の必要はない、などです。こうした考え方も参考に、状況に応じた不織布マスクの正しい着用や、こまめな手洗い、消毒、ゼロ密など、引き続き基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。

さらに、ワクチン接種が感染防止・重症化防止の対策の要でありますので、希望される皆様には、できるだけ早く3回目の接種を受けていただくようお願いをいたします。私からは以上です。

☆代表質問

記者

毎日新聞の熊田です。代表社として皮切りの質問をさせていただきます。先週の会見でも出ましたけども、経済対策について伺いたいと思っております。

原油高や諸物価の高騰を受けまして、政府は17日の閣議で、緊急経済対策を盛り込んだ補正予算案を決めて、報道ベースでは25日にも国会に提出される予定というふうに伺っております。山形県としてはですね、県内・県民の影響をどのように考えて、どのように対応していくお考えか改めて伺いたします。併せて、他県の知事さん、それから自治体の首長さん等がそれぞれの6月定例会に向けまして、緊急経済対策についての独自の施策等についての意見等を今、述べていらっしゃるというふうに、これも報道ベースで聞いておりますけれども、本県も6月の定例会も近いことですから、山形県としての独自対策等についてお考えがあれば、それもお伺いしたいと思います。よろしく申し上げます。

知事

はい。それではお答えいたします。

長引くコロナ禍で疲弊している中、ロシアのウクライナ侵攻や円安などの影響により、原油や原材料価格、食料品を始めとした物価が高騰しており、県民生活や、本県の産業界全体に大きな影響を与えていると認識をしております。

県では、これまでも、コロナ禍で困難な状況に置かれた県民の方や事業者に対して、様々な支援を行ってきたところです。こうした対策に加え、足元で原油高・物価高騰の影響が拡大しておりますので、今月初めに「原油・物価高騰対策タスクフォース」を県庁内に設置し、各業界からの声もお聞きしながら、必要な対策を検討してきております。こうした検討状況を踏まえ、政府が決定した「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」に対応した6月補正予算案を検討しているところでございます。現在、詰めの作業を行っているところですが、原油価格・物価高騰の影響に目配りできるような予算にしたいというふうに考えております。

ということで、まさに今、検討中ございまして、現在最終調整中でございます。政府の総合緊急対策を踏まえ、生活に困窮する方々への生活支援や、農林水産業者、運輸・交通分野をはじめとする中小企業者などへの支援を検討しているところであります。6月定例会の前に、皆様にお示しできるよう準備を進めてまいります。

記者

ありがとうございました。私からは以上です。

☆フリー質問

記者

NHK、金敷です。よろしくお願いします。冒頭知事の発言の中にもありましたけれども、マスクの関係で、政府の考え方として、屋内でも距離が取れば着けなくても構わないというのが盛り込まれていると思うのですが、このあたりに関して知事のお考えを改めて伺えますでしょうか。

知事

はい。マスク着用につきましては、厚生労働省の専門家組織の提言を踏まえ、去る5月20日に政府から方針が改めて示されたところであります。それによりますと、屋内外それぞれで人との2メートル以上の身体的距離が確保されている場合、さらに会話が行われるか否かなどのケースにおける考え方が示されております。

一方、2歳以上の未就学児については、「マスク着用を一律には求めない」という2月以前の政府の方針に戻すとされております。

このたび、マスク着用に関しまして、専門家の知見を踏まえた政府の統一的な見解が示されましたが、厚生労働省では、今後リーフレットを作成するなどして丁寧な啓発・広報に努めるということがございます。今後は政府から国民に対して分かりやすく説明するとともに、状況に応じた正しいマスク着用が行われるよう周知していただきたいというふうに思っております。

県としましては、今回の政府の考え方を参考に、医療や保育の専門家のご意見もお聞きした上で、そういったことも踏まえて、今後わかりやすく県民の皆様には情報発信していくとともに、特にクラスター発生の多い保育施設に対しては、未就学の子どものみにもわかりやすいチラシを作成するなど呼びかけを行ってまいります。

これから気温が高くなる季節を迎え、熱中症のリスクも増えるということが懸念されます。県民の皆様には、基本的な感染防止対策として、状況や場面に応じた適切なマスク着用を行っていただきますようお願いをいたします。

山形県の夏の暑さは本当に半端ではございません。大変蒸し暑い夏が例年でございますので、熱中症のリスクというのは大変大きいというふうに思っております。

それで政府のリーフレット、まだ届かないのですけれども、作成中ということでありますので、それを見まして、そして県内の医療専門家にアドバイザーもお願いしておりますので、その方々のご意見もお聞きして、県として県民の皆様には、こういったことが望ましいかというようなことを申し上げていこうかなというふうに思っております。

記者

政府の方針としては示されましたけど、現場の方はですね、去年のこの時期も多分熱中症の議論はあったかと思うんですけど、例えばお子さんの中には自分だけはずすのは気になる

るという声もあったり、例えばそこからいじめに繋がるんじゃないかみたいな声も聞かれたりするみたいなんですけど、こういう状況にはどうやって対応していこうというお考えはありますか。

知事

はい。そうですね、基本的にはですね、やはり教育委員会がお示しするというふうに思っておりますけれども、今記者さんがおっしゃったような、その子どもさんがですね、自分だけはずしていいのだろうかというような心配をしないで済むような、やはりわかりやすい説明ということをね、していく必要があるというふうに思っています。

しっかり考えた上でできる限りそのお知らせをですね、説明というものをしっかり行っていくということがやはり心配の払しょくに繋がるというふうに思っています。

記者

はい、ありがとうございます。

記者

河北新報の栗原です。よろしくお願ひします。

先ほど冒頭のほうでやまがた紅王のシーズン、プレデビューということで説明がありましたけれども、今年、全国に周知する非常に重要な1年になると思ひますが、知事自ら、例えば関東圏あるいは仙台圏、県内で具体的にどのようなアピールをしていくのか、計画が決まっていたら教えてください。

知事

はい。そうですね、やはり担当に聞いてみたいというふうに思っておりますけれども、PRはすごく大事ななというふうに思っています。今、担当おひりますか。

農林水産部次長

はい。農林水産部です。今年、やまがた紅王プレデビューということで大々的にPRしていきたいということで、今のところですね、また正式に決まりましたら記者クラブさんのほうにもお伝えしたいと思ひますが、県内でお披露目、それから首都圏でのお披露目ということで今のところ考えておひります。その時はぜひ知事にも出ていただきたいというふうに考えておひります。

知事

わかりました。そういうことでお願ひします。

記者

TUYの鈴木です。

参議院選挙について伺いたいのですが、昨日、参院選の自民党の選挙対策委員長の遠藤利明衆議院議員が山形市内で元県議の大内理加さんに出馬の打診をしまして、まだ返答はないんですけども、報道などでは出馬に前向きとも言われておりますけれども、ある程度参議院選挙に向けた構図が固まりつつある中で、現時点で知事の応援を含めた考えをお聞かせいただきたいのですが。

知事

そうですね、参議院選挙ということでもありますけれども、様々な報道がなされていることは承知をしておりますけれども、私から特に申し上げることはございません。

また、私自身がどういうふうにするのかというようなこともお尋ねでありますけれども、現時点で考えていることはありません。まずもって議会が目の前でありまして、原油高、物価高騰というようなことに対して県がどういったことができるのかというようなことをやはりしっかり検討して、補正を組みたいというふうに思っています。目の前の公務に邁進したいというふうに思っているところです。